

総合職へ、そして管理職へ。 自己申告制度と面談で 意欲の芽を育てています

コーナン建設株式会社
取締役 執行役員 人事部長 坂入喜代枝さん

全社員の希望や本音を受け止めるために制度化された「自己申告シート」。上司の面談、キメ細やかな声かけも、総合職への転換や女性管理職の誕生につながっています。



自己申告シートを活用し、 全社員の希望を吸い上げる

女性社員の構成は総合職17名、一般職27名で、うち主任以上が12名。「男社会」といわれる建設業界にあって、注目に値する活躍が見られます。「男女ともにチャレンジできる風土は、20年以上前から醸成させてきました」と、人事部長の坂入喜代枝さん。それには全社員の希望をとりこぼすことなく丁寧に反映させようとする「自己申告シート」の存在も大きいといいます。A3サイズ of 用紙1枚に、数多くの項目を網羅。一年間の振り返り、悩み、今の仕事の量や質、やりがい、希望する研修や勤務地、健康状態についても含まれます。すべて人事部に届くので、希望を見渡して社内の人事を整理。またシートの情報を元に上司の面談が行われるという、重要なコミュニケーションツールでもあります。

女性の職域転換を進めるため トップが経営方針として発信

自己申告シートには「してみたい職種」の欄もあり、意欲の芽を見つけるのに役立っています。また総合職への転換やキャリアアップについて

は、適性を見て上司から声をかけるケースも少なくありません。坂入さんも自ら希望して総合職に転換。営業部署の曲尾ルミさんも、上司からの勧めで事務から職種転換してキャリアアップし、現在は横浜支店長を務めています。近年、トップ自らが「総合職への転換強化」を経営方針に掲げたのを受けて、職域転換に関する欄を自己申告シートに新設。職域や職種を転換したらどうなるのか説明を希望する女性が増えているそうです。「責任ある仕事で能力を発揮し、ステップアップしてほしい。働きがいにつながる可能性が高いからです。それをサポートする意識が高まるように、管理職セミナーも開催しました」と、坂入さん。「女性にもっと活躍してほしい」という機運を社内に行き渡らせています。



「自分では営業向きだと思わなかったのですが、トライのきっかけをもらえて幸いでした」（曲尾さん）

コーナン建設株式会社

従業員数265名

1948年創業。多様な建築ジャンルにおける企画から設計、施工までカバーする総合建設企業。育休取得で長く働く女性社員の増加で機が熟し、2017年には「女性の総合職増員」「女性活躍の機会拡大」を経営方針に掲げる。取締役と執行役員にそれぞれ1名ずつ女性が就任。2013年大阪市きらめき企業賞を受賞。

ここをヒントに!

**ON 紙に記載することで
面談の内容が濃くなる**

詳細にわたる「自己申告シート」の制度化で、本人が仕事を振り返る機会ができ、上司との面談に役立てることも可能に。何も書いていない場合は、記載しにくい気持ちを聞きだすきっかけにもなります。また人事担当者に直接相談できるようにしておけば、異動の希望や健康の不安など上司に伝えにくいことも把握しやすくなるでしょう。

**ON 職種の転換や昇進など
将来の目標が共有可能**

適性は、仕事をしてみないとわからない面もあります。設計、施工、技術などの総合職で入社しても、内勤に適性がある場合もあり、一般事務職から総合職の営業への希望もあられるでしょう。すぐに異動を希望するわけではなくても「やってみよう」という意欲の芽を把握しておくことで、適材適所の人事が可能となり、就労継続につながります。

**ON 管理職の気づきを促す
セミナーなどを開催**

男性管理職は女性活躍のサポートについて十分に意識できていない可能性があります。セミナーなどで管理職の意識を高めていくことはその対策として効果的。次の一歩を迷っている部下の女性には、管理職からステップアップにつながる適切なコミュニケーションをとり、背中を押すことがモチベーションアップにつながります。

※掲載情報は2018年8月のものです